

令和3年度第1回防府市図書館協議会

日時：令和3年7月6日（火） 午後2時～午後3時

場所：防府市役所 1号館3階南北会議室

■出席者

（委員）藤村会長、安光副会長、岡田委員、原田委員、河村委員、山崎委員、
吉武委員、井川委員（計8名）

（事務局）江山教育長、杉江教育部長、石丸教育部次長、尾中教育総務課長、
大野図書館長、御手洗図書館管理室長

■欠席者 津田委員、新田委員

■傍聴者 2名

■議事録

○事務局

定刻になりましたので、ただ今から「令和3年度第1回 防府市図書館協議会」を開催いたします。

それでは、防府市図書館協議会規則第三条第1項に、「会長は会議の議長となる」と定めておりますので、これからの会につきましては、藤村会長に議事進行をお願いいたします。

○議長

それでは、会議を進めさせていただきます。限られた時間ですのでスムーズに運びますように御協力をお願いいたします。

今回の会議につきましても前回と同様に、会議及び会議録につきましては、「公開」ということでよろしいでしょうか。

（異議なしの声）

では、異議なしということで、「公開」で進めてまいりますので、よろしくお願ひします。

それではこれより議事に入ります。議題1の令和2年度事業実施状況の評価について事務局から説明をお願いします。

○事務局

それでは、令和2年度事業実施状況の評価についてでございます。資料1につきましては、昨年度の図書館の事業実施状況に対する図書館の自己評価を、

委員の皆様にお送りいたしまして、コメントをいただいたものをまとめさせていただきます。資料2は資料1を項目ごとに事務局で要約し、各項目の(1)から細分類の順に並べて、大項目の最後のところに委員の皆様の意見案としてそれぞれ欄を設け、まとめた資料でございます。

本日の会議の目的としましては、資料2の図書館協議会の意見を、皆様方でまとめていただくことでございます。この評価表は、市のホームページで公開いたしますので、内容や表現について御意見を伺いたいと存じます。

では、項目ごとに館長と私で意見又はいろいろな御説明を申し上げながら、項目一つずつに対して述べていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

○館長

防府図書館の大野でございます。どうぞよろしくお願いいたします。御説明を申し上げます前にまずもお詫びを申し上げなければならないことがございます。と申しますのが、皆様方に私どもの実施状況の評価表を見て委員としての評価をいただいたわけですが、その基となる評価表の方に記載のミスがございました。それに気づきましたのが昨日ということで、大変見苦しいことでございますが、この場で、まずその訂正をお願いできたらと思います。該当の箇所は6ページ目でございます。大きい項目の4の「地域の歴史や文化を大切にするとともに国際理解を深めていく図書館」という4つ目の項目なのですが、この(1)の事業の実施状況の中に黒丸の2つ目でございます。年間郷土資料収集冊数でございますが、総数が1,185とありますけど大きなミスでございましてトータル451冊でございます。目標が450ですので、わずか1冊超えただけでございます。大きな違いで大変申し訳ございません。購入冊数の方が128ではなく137が正しい数字でございます。そして寄贈の冊数は、1,057が間違いでございまして314冊でございます。合わせて451冊というのが正しい数字でございます。すでにお手元に届いております図書館年報の方には正しい数字で挙がっておりますけれども、私どもの記載ミスに気づきましたのが昨日になってということでしたので、改めてお詫び申し上げますとともに訂正をいただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、皆様方にはあらかじめ実施状況の自己評価表を読んでもらっていただき、コメントもいただいておりますので、ここでは令和2年度になって大きく変わった点を中心に御説明申し上げますとともに、御指摘いただきました課題や要望等への対応についてもふれてまいりたいと思います。

まず、大きい項目の1「誰もが等しく学べる豊かな資料と機能を持つ図書館」ということで、1ページ目から御説明申し上げます。お手元の1ページの1の(1)、①の資料収集業務につきまして、当館では、防府市図書館資料収集要綱に基づ

きまして選書・収集を実施しております。今年度の図書購入冊数が、目標の冊数 12,600 という数字に若干及びませんでしたけれども、特に予算が減額ということではございません。例年に比べ、やや高額の図書を多めに購入したということで、目標に届かなかったということがございます。なお、郷土本につきましては、購入・寄贈ともに何とか目標を達成しており、今後も郷土資料についての情報収集に努めるとともに、郷土資料の充実を図りたいと思います。ただ、課題にも挙げましたように、閉架書庫の空スペースがもはやほとんどございませんので、昨年度は複本の除籍などで除籍数をやや増やしております。数字で申しますと、例年ならば、だいたい 1,500 程度の除籍をするのですが昨年度はそうした事情もあってちょっと心苦しいながら 500 増やして、2,000 冊の除籍しております。とは言え、年間約 13,000 冊のペースで増え続けているその上昇数からしますと、2・3 年後にはほぼ満杯となると、置き所がなくなるということが予想されます。と言いながら先ほど申しましたように保存要綱に沿って除籍もいたしておりますので、安易な除籍もできません。今後、教育委員会と相談いたしながら、抜本的な対策を検討していきたいと考えております。

また、③書架管理蔵書点検業務につきましては、通常年 2 回の閉架書庫の蔵書点検に加えまして、新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館中に和書の蔵書点検のほか、図書、布絵本、パネルシアター、CD ケースの修理、配架の変更、地域文庫の整理などを実施いたしました。

さらに④の資料提携業務につきましては、臨時休館中においても少しでも資料を利用者にお届けできればということで、図書館エントランスと移動図書館車で予約いただいた本の受け渡しや、小学校・留守家庭学級へ、図書館職員が選書して図書を交換する、そういうサービスを新たに始めました。なお資料の提供に際しまして、より安心して御利用いただくために、9 月 30 日からはエントランスホールに書籍消毒器を設置し、その周知に努めた次第でございます。

続きまして、2 ページ目でございます。1 の (2) ですが、②の情報発信業務につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため秋までのイベントのほとんどを中止せざるをえなかったこともありまして、FM ラジオやケーブルテレビ等を活用する機会がありませんでした。そうした中にありまして、広報活動拡大のため、民間企業にもチラシの配布やポスターの掲示をお願いにあがって、7 月からはイベントのチラシを、アルクの市内 10 店舗に置かせていただけるようになりました。なお、臨時休館やサービス再開のお知らせなど、ホームページや防府市メールサービスあるいは館内外での掲示、そうした手段で情報発信をいたしましたけれども、残念ながらなかなか周知徹底とまでいかず、緊急時の情報発信に課題を残したという反省がございます。

また、④のサービス環境整備、安全対策、危機管理業務については、増えて

きましたAV資料を配架するため、エントランスホールの奥にCDラックを設置するとともに、開館を待たれている利用者のために、入り口前にスツール2台とパンフレットラックを設置し、また子ども読書コーナーの椅子、雑誌コーナー及びブラウンジコーナーのソファ、書棚横のスツールの座面布の張替えを行いました。

安全対策といたしましては、新型コロナ感染拡大防止のため4月8日から5月24日までを臨時休館としたほか、9月7日には台風10号の接近による危険回避のために臨時休館といたしました。なお、臨時休館後のサービス再開に際しましては、換気の難しい準備室、お話のへや等を閉鎖するとともに、受付カウンターにはビニールシートで壁を設置し、研修室の方は利用人数制限と利用目的制限、具体的にはサークル活動のみということで、自習目的の利用は禁止しました。また、インターネットコーナーやパソコンコーナーの利用時間の制限、DVDコーナーの利用回数制限を設けました。さらに、ソーシャルディスタンスを保つために、閲覧用の座席数はほぼ半減し、入り口とOPAC付近にはアルコール消毒液を用意して利用に供し、また2月からは入り口に体表検知カメラ設置をするなど、新型コロナウイルスの感染予防に努めてまいりました。

さらに⑤利用マナー啓発業務につきましては、小中学校の休校による夏休み期間の短縮を受けまして、昨年度はマナーアップキャンペーンとグッドマナーチャレンジを中止せざるをえない状況となりました。

続きまして3ページ目1の(3)でございます。①の移動図書館車の運行につきましては、6コース37ステーションで運行してきましたが、この市役所庁舎の建て替え工事に伴いまして、市役所ステーションは3月25日を最後にいったん休止することとなりました。従いまして、令和3年度は6コース36ステーションでの運行となります。

また、臨時に地域のイベントに出向いての出張サービスにつきましては、新型コロナウイルスの感染防止のため、地域のイベントのほとんどが中止となったこともあり、昨年度は小学校2年生の生活の授業への派遣が2回だけということになりました。

なお、大道中学校の方から御要望を受けたこともあり、運行しております大道コースに新ステーション、大道中学校を設けることができるか、現在調査研究中でございます。もし、時間的にコース的に可能であるならば、来年4月からの運行をというふうに今のところは考えております。以上、大きい項目の1についての御説明を終わらせていただきます。

○事務局

続きまして事務局側からです。大項目1については、新型コロナウイルス感染対策の関係で、先ほど館長からもお話が出ましたが、イベントがさまざま中

止になってしまいました。図書館では、新型コロナウイルスにいろいろな対応をしながら、開館後も努力しております。項目1については、委員の皆様から全般的に評価をいただいていると思っております。

この中で資料1の方で課題として挙がっていたものとして、まとめているものが資料2の方の1の(2)の上から3つ目なのですが、ホームページや図書館だよりなど利便性の向上を図るとともに、今後オンライン閲覧目録等の活用に対応できない高齢者等への情報提供方法の検討が必要である、という御意見をいただきました。これについては今年の冬に図書館のパソコンの更新の予定がございます。それに伴いまして、図書館のホームページなどを見直すこと、それと図書館内にご覧いただけます OPAC といいまして、この本はどこにある、この本はどのような本であるというのが分かる機械を言うのですが、それを今の固定式になっているものから、一部タブレットにすることを、ただ今検討しております。それによりまして館内で動いて利用できるように考えておりますので、今後も課題として検討していくというところに入れていただいております。

1の2の下から2番目ですが、書籍消毒器の設置は来館者が安心して利用できる環境であり、もっとアピールすべきであるという御意見をいただいておりますので、これも今後ますますアピールしてまいりたいと思っております。

なお、一番下の1の4ですがオンライン図書館研修というのは、図書館の職員が研修にオンラインで参加せよということかと思いますが、実はすでに開催されている研修に図書館職員は参加しておりますので、今後とも研修に参加してまいりたいと思っております。以上でございます。

皆様からの御意見を伺いたいと思っております。よろしく願いいたします。

○議長

ありがとうございます。今事務局からの御説明に対して、御質問・御意見がございましたらお願いいたします。

それでは、私から、図書館年報の22ページになるのですが、この資料2の方でいいますと、3ページの下から4行目です。図書館年報の22ページになりますが。貸出利用統計表を月別の利用状況が分かるようにしてほしいというところです。入館者数は1年間分がポンと挙がっているので、これをできれば月別のグラフ・表を作ってくださいと、休館中と開館中の人数の推移とか、そういったこともわかりますよね。またそれに伴う利用状況も、推察が可能かと思っております。23ページに空いた空欄がありますから、18の項目で入れることができるかと思っておりますので、よろしく願いいたします。他にはいかがですかね。

○委員

先ほどオンライン図書館研修と言われましたが、職員の方がすでにもう出向いていらっしゃるということですので、同一労働同一賃金ということもあり、

これは専任司書というか事務補助というかパートの方というかどうかという扱いになっているか分かりませんが、そういう方たちもこういう研修会には参加されているということでしょうか。正規専任の方以外の方も、この研修には参加されているかについて、お伺いします。

○館長

今現在おります図書館職員は、正規職員プロパー職員のほかに、非常勤特別職員、そして契約職員、パート職員と4種類の職員がおりますけど、基本的には職種に関わりなく、経験に応じて、必要に応じて研修に参加していただいております。

○委員

ありがとうございます。

○議長

よろしいですかね。それから、閉架資料の書架の確保、保存スペースの確保で苦慮されていることを言われましたが、ベストセラーなどの複本などの除籍は行われているかと思いますが、新聞ですよね。新聞が丸々としてあると、なかなかスペースを取るかと思いますが、他の図書館と連携して地方版の保存の面もありますけれども、連携されて少し検討していただけると、スペースをかなり確保できる面もあるのではないかと思います。

○館長

ありがとうございます。新聞の保存につきましては、もちろん地元に関する新聞は永年保存なのですけれども、かつての取り決めで朝日新聞について永年保存になっているのですが、これは本来県立図書館の方も保存しておりますので、そのあたりで少しはスペースがとれればと思っているのですが、ただ、地域によって版が違うという問題がございますので、また機会があれば、そこらへんもちょっとつめて、今後、新聞の保存に関することにつきましては、検討していきたいとは考えております。

○議長

他の館とも協議されて進めていただければと思います。この図書館協議会の意見案として出ているものは、この形でホームページにも掲載されることとなりますけど、よろしいですか。

それでは時間もおしえていきますので、次に進めましょう。よろしく申し上げます。

○館長

それでは、お手元の資料の3ページ目でございます。大きい項目の2番、地域の人々と手を携えて豊かな交流の場を作る図書館ということでございます。

4ページ目の2の(1)①のボランティア団体・生涯学習グループ等との共同

推進業務につきましては、例年、実行委員会やボランティアの皆様の方と共同で実施している2大イベントの内の一つ、防府市子ども読書フェスティバルを新型コロナ感染拡大防止のために、やむなく中止することとなりました。いったんは延期をして、何とか開催をと考えておりましたが、状況が好転せず、やむなく中止ということでございました。一方、もう一つのイベント、防府図書館まつりにつきましては、時期をずらし、規模を縮小しまして、11月1日に開催しましたが、この図書館まつりは、ちょうど30回目の節目ということもございましたので、この11月に開催できませんでした展示を中心に、3月14日にも、記念事業として防府図書館まつり展示&催しものの部を開催いたしました。従いまして昨年度は、図書館まつりを1部2部として2回に分けての実施ということでございます。また、2の(2)ですが、①ボランティア活動推進業務につきましては、防府図書館ボランティア連絡会議を1月28日に開催しました。多くの提言がなされましたが、その中でボランティア養成講座のあり方につきまして、やや専門的に過ぎるのでないか、原点に戻って内容を精選してはどうかというような御意見もありまして、現在、今年度のボランティア養成講座の内容につきましては、内容も少し変更を加え、新たなボランティアを要請するという本来の目的に立ち返るような形での内容にしたいということで、今検討しているところでございます。以上です。

○事務局

それでは、資料2のページ4ページのところの図書館協議会意見案でございます。大項目の2についてはイベントの開催時期延期や人数制限など、やはり新型コロナウイルス対策をしながら、豊かな交流の場を作る図書館として運営評価をいただいております。

そして課題については先ほど館長の方から新たなボランティアの養成をするための施策を検討するという説明がございましたが、既存のボランティア養成講座に対する御意見、あとボランティアの高齢化問題に対して、新たな視点からのボランティア募集方法への御意見として委員の皆様御意見は、2の(2)に関連する二つの意見として、まとめて記載させていただきました。皆様の御意見を伺いたいと思います。

○議長

ボランティアの養成また募集についてはいろいろ御意見が出ておるようですがどうですかね。

○委員

ボランティアの養成講座の件なのですが、ボランティアと言いましても、ここに書いてあるように大変高齢化してきております。若い方の参加が少なく、もう60、70代の者が大半を占めております。

いつも思っていることですが、何かの機会に募集をしてほしいということで、年齢も少し若い小学生のボランティア養成講座の開設を望むと書きました。夏休みなんかには子どもたちのいろんな取り組みをしてらっしゃいますが、それと合わせて、小学生の時から図書館のボランティアということで、子どもたち対象に養成講座を開催し、楽しく図書館で本を読みながら、楽しくボランティアができるということを考えていただけたら、高齢化が少し下がるのではないかなと思って、子どものボランティア養成講座の希望を出させていただきました。どうぞ御一考くださいませ。よろしく申し上げます。

○議長

子どものボランティア養成講座、ちょっと難しい面もあるかもしれませんが、御検討いただければと思います。

他は、よろしいですか。高校生のボランティアなんかも、もっと積極的に活用されるといいかと思えますね。この項目はこの2件。4ページになりますがよろしいですかね。それでは、次の3に移りましょう。

○館長

それでは続きまして、5ページ目でございます。3番の「生涯学習活動の拠点として集会文化活動にも力を入れ地域の力を高める図書館」ということですが、まず(1)①のイベント・懇談会につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、防府市子ども読書フェスティバルにおいて開催予定でございました、絵本作家林木林さんによるトークイベント及び第1回ビブリオバトルを中止しました。また、令和2年度からの新規事業として計画しておりました月いちキネマは、4月から約半年遅れて10月からの開催となり、またシニア向けの实用講座は、新規事業で予定しておりましたが、2回とも中止とさせていただきます。

なおビブリオバトルにつきましては、第2回目を11月23日、3回目は3月14日の防府図書館まつり展示&催しもの部の中において開催いたしました。

さらに防府図書館利用者懇談会を12月3日に開催しました。コロナ禍ということもあり参加者数は少なかったのですが、傾聴すべき御意見も多くあり、今後の図書館運営に参考にさせていただきたいと思っております。

一方、課題として挙げられております若い世代を巻き込んだ集会文化活動の実施につきましては、11月の図書館まつりが日曜日開催ということもありまして、若干名ではありますけれども防府商工、防府高校、あるいは誠英高校の生徒さんの方が、ボランティアとして参加してくれました。また今年度にはありませんけれども7月17日に開催いたします、子ども読書フェスティバルには、誠英高校の美術部員がボランティアとしてお手伝いしていただくということになっております。

また、11月には、ちょっと新しい企画といたしまして、単なるビブリオバトルじゃなく、中学生をバトラーとするビブリオバトルの開催を、検討中でございます。すでに一昨年、高校生のビブリオバトル大会の方は開催したのですが、中学生にバトラーとなってもらい11月に期待しておるところでございます。以上でございます。

○事務局

資料2の方の5ページにまいります。図書館協議会の意見案でございます。大項目3については、図書館でのイベント開催と展示について、概ね高評価をいただいております。そして3の1の上から4つ目、図書館の位置が外から分かりづらいという御指摘です。図書館が3階にあるため外から分かりにくい、特に南側からという話につきましては、ルルサス全体との表示との兼ね合いを考えながら、今後も要望として載せさせていただき、こちらの方でも継続して検討を図りたいと思っております。

続きまして3の2の2つ目に挙げております、若い世代を巻き込んだ文化活動の実施でございますが、先ほども館長からも説明があったように高校などへのボランティアの募集やイベントの周知・依頼などを通して、こちらでも継続していく課題として挙げさせていただいております。委員の皆様のお意見を伺いたいと思います。

○議長

質問・意見等ございましたら。この南側からの図書館の表示については、以前から吉武委員さんが言われているのですが、図書館の方では南側からの入り口、看板は難しいけど表示板とか考えがあるようなことを、前ちらっとお聞きしましたがいかがですかね。

○館長

イオン側の道路の方から見るところということで、3階のガラス窓への看板は少し難しいのですが、具体的にはルルサス南側にミライザカという居酒屋さんがありますけれども、フコク生命の入ってる方でございますが、その壁の部分の低い部分でございますけれども、こちらの方には看板は付けることが可能だということで、管理組合の方からお返事いただいております。

ただ、こちらの方につきましては、まだ未確定な所もございますけれども、他の市の施設との兼ね合い等も含めて、もう少し今後検討させていただいたらと考えております。以上です。

○議長

ルルサス1階にパイロットルームとかサテライトルームについて、御意見をあげておられる委員さん、いかがでしょうか。

○委員

先ほどから出ているルルサス南側の方の表示がすごく分かりづらくて、その前には鉄道の高架も走っているものですから、すごくわかりづらいです。人通りが多いのに、とても残念だなと思っています。いろいろな市に行ってみますと、図書館って駅から近い所、大変わかりやすい所にあって本当に親切に丁寧によそから行った私でも入ってみようかなと思う所にあって、ああこれが本当の図書館のあり方じゃないかなと、かねがね思っていたのです。防府市はせっかく駅前にあるのに、ちょっと残念です。もうちょっと分かりやすく、今小さな看板がありますけど、それも横向きになっていて、敷地内に入ってみないと分からないですよ。今、施設の1階のスペースが、結構空き室になっていて、ここに市役所の公民館が入るってちょっとお聞きしたのですが、公民館スペースみたいなのところにも、図書館がこの上にあるのだよというような表示で子ども本とか新聞とかを置いていただけると、この上に図書館があるのだなとかわかんと思います。どうにか南側に来る人を呼びたいなと思っています。本当にお願ひしたいと思っています。

○議長

教育委員会としても御検討していただければと思います。

3番はこの意見でよろしいですかね。では次に4番をお願いします。

○館長

続きまして6ページ目でございます。4番の「地域の歴史や文化を大切にするとともに国際理解を深めていく図書館」ということで、先ほど申し上げましたが、訂正していただいた箇所のところでございます。

まず①の上山満之進と三哲文庫顕彰業務につきましては令和3年4月1日の防府図書館開館80周年記念日に備えまして、「防府図書館80年の歩み」を刊行すべく準備しました。もう現実にはすでに刊行しておるのですが、この小冊子につきましては、この4月25日に開催されました防府図書館開館80周年記念事業の講演会場で配布させていただくとともに、関係者の方に送付させていただきました。

また、図書館内においては9月2日から10月5日の期間、ブラウジングコーナーの壁面においてパネル展示三哲文庫開館から80年を実施いたしました。

さらに令和3年度からは通称名として三哲文庫を使用するということを踏まえまして、ロゴの作成や印刷物等の差し替えの準備をいたしました。実際に4月から使用しております。

なお、課題として挙げられております市内在住外国人の図書館利用の拡大という点では、今年度に入り利用案内の英語版の内容を見直し、更新いたしました。現在新たなバージョンで利用していただくよう準備しております。ただ、スマホ等の関係で極端に外国人の利用者が減っているという事実につきまして

は、御指摘の通りでございます。そうした外国の利用者の方も利用しやすい図書館ということで、今後検討してまいりたいと考えております。以上です。

○事務局

事務局からです。資料 2 の 7 ページになります。図書館協議会の意見案でございます。大項目 4 についても概ね評価をいただいております。ただ先ほどより、館長から訂正があったように意見の方の一番初めに、郷土資料の年間収集冊数が目標の 3 倍近い成果を上げておりというふうに入れておりますので、こちらを目標が達成できており評価できるというようなかたちの文言に変えたいと思っておりますがいかがでしょうか。

○議長

訂正していただくということで。

○事務局

すみません。それでは、訂正させていただきます。

そして続きまして、外国人への図書館サービスの方法および周知と外国語に関する職員の研修については、引き続き図書館の課題とさせていただきたく挙げております。それで委員の意見としては、掲載させていただきました。

皆様の御意見を伺いたいと思っておりますがいかがでしょうか。

○議長

前回の図書館協議会の時、市内の在住外国人の状況がどういうふうなことになるだろうかという質問があったのですがいかがですかね。

○事務局

はい、令和 3 年度の 4 月 1 日現在、防府市の在留外国人は 1,290 名となっております。国籍別では約 4 割がベトナムの方 505 人、約 2 割が中国の方 244 人、続いて朝鮮及び韓国の方が 168 人、続きましてフィリピン、インドネシア等々となっているようでございます。

○議長

この前、私事になりますけど、エディオンで電化製品を買って担当の方が持って来られた時に、付き添いで来られた方がネパールからおいでになっているということでした。全国的にも、ネパールの方も結構増えているような状況のようですね。

それで図書館としてもその外国や外国文化への研修ですか、そういったものも実施されたということのようですけど現実問題としていかがですかね。

○館長

特に研修ということで、昨年度実施したところはないのですけれども、先ほど御報告申しましたが、とりあえずは英語版の利用案内を更新したぐらいでございます。今、お聞きしましたところ、いわゆる東南アジア、ベトナムあるい

はフィリピンといった南アジア方面から、防府在住ということでございますので、一応、共通言語としての英語をとるところから、取り掛かっているというぐらいの状況でございます。答えになっていないかもしれませんが、以上です。

○議長

今後とも努力していただければと思います。それでは、今のところはよろしいですか。

○委員

今のところでぜひお願いしたいことは、今4年生の学生が公立図書館における多文化サービスというのを勉強しております。今の3年生の日本語教育の実習もオンラインで、技能実習生向けに18時から実習をするというふうな状況らしいのですね。それで、今、英語版で利用案内というのは形ですよ。物のような気がするので、私が思うのは外国文化、外国語、ベトナムの方が多いのであれば、ベトナムの方を図書館にお呼びして、それを学んでいくとかいうのだったら、そんなに構えてやらなくても、言語とかですね。とにかく図書館がやるとすれば資料を集めればいいでしょうとか、言語のものをとか。それはサービスにならないのではないかなと思っています。それも一つだと思いますけれども、そういう方たちを巻き込んで、翻訳してもらえるところまでなってくると、もっと多文化サービスになるのではないかと思います。私は、公立図書館は、どこもなかなか難しいことになっているのではないかと思いますので、防府はどうぞしっかり進んでいただければ、モデルになっていただければと思っています。以上です。

○議長

はい、御検討ください。では次の5番目をお願いします。

○館長

それでは続きまして7ページ目でございます。5番の「様々な教育文化施設とのネットワークを進めサービスする図書館」ということでございます。

まず(1)の②でございますが、地域文庫、団体貸出業務につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、市内小学校の留守家庭学級を対象に貸し出しのための選書を、図書館職員が代行するというサービスを新たに始めさせていただきました。これは、館内での滞在時間を減らすというのが目的であったわけですが、非常に好評を得まして、今、市内の留守家庭学級の半数以上が御利用いただいているというところで、休館中ではございませんが、このコロナ禍が治まるまでは、継続してこのサービスを実施したいと考えております。

また、公民館との連携につきましては、中関公民館の女性学級に職員を派遣

し、図書館の利用案内をするとともに、ビブリオバトルを開催する出張サービスを行いました。

次に(2)ですが、②の防府市文化振興財団内の連携業務につきましては、他館と連携した資料展示やイベント参加を行いました。また、4館連携の企画として「アナザーワールド防府でちょっと違った世界を見てみませんか」につきましては、コロナウイルスの感染拡大の影響で4月スタートの予定が大幅に遅れたものの、何とか秋10月17日から12月20日までの会期で、各館それぞれに企画展を開催するとともに、4館を巡るスタンプラリーを開催しました。桑山中学校がこのスタンプラリーに団体として参加していただいております。

御質問が出ておりますように、ソラールとの連携事業、「すごい宿題～君だけの秘密」の関連資料は、書籍中心かということですが、こちらの方は絵本作家ヨシタケシンスケさんの作品、絵本を中心とした資料の展示を図書館で行いました。これはソラールの方から、急ぎよ申し入れられたので、準備期間がなかなか取れず、書籍だけの展示になりました。ちなみに今年度は、すでに開催しておりますソラールとの「集まれ本の虫」というコラボした連携展示をやっておりますが、こちらでは昆虫の標本等も示しております。これは、ソラールの方にも図書館の方にも展示するという相互に見ていただけるイベントとしております。7月25日まで開催しておりますので、お時間がございましたら、まだ開催中ですので、ぜひ御参考にしていただければと思っております。以上です。

○事務局

はい、それでは資料2の方の9ページの図書館協議会の意見案でございます。大項目5については学校図書館への貸し出し支援や公民館への出張サービスなど、図書館の業務に対して、概ね評価をいただいております。財団内の連携についても、企画展やギャラリートークを行うなどで評価をいただいております。以上でございます。

○議長

御質問、御意見ありましたら。

防府市は子ども読書活動推進計画に基づきまして、学校図書館と市立図書館との連携が県内では、最も進んだ状況になっているわけですがけれども、また学校の児童選書会の際や留守家庭児童学級への貸し出し、選書のサービスですかね、そういったこともなさっているということで、一段と進んでいるのかなと思います。

9ページの5の1の下から2番目、図書館をはじめとした学校への専属職員の配置を望むと書いてありますが、資料1の方にもネットワークを進める上で、図書館をはじめ学校等への専属職員が配置できるのではないかと。これ

は専属の職員というのは専任司書のことなのでしょうか。

○事務局

大変申し訳ありません。これはいただいた御意見なのですけれど、図書館をはじめというふうになっているので、図書館の職員を配置というのではないのかなと思うのですが。

○委員

それは私が書いたと思います。司書教諭をはじめ、いろいろ配置等していただいていると思いますが、それに加えネットワークシステムを進める上で、堪能な職員の配置があると学校等も助かるだろうと思って、書きました。予算があれば、市の職員の方をつけていただけるのではないかと思い、書かせていただきました。

○議長

具体的にはどういったかたちで。

○事務局

教育委員会が配置というかたちでしょうか。

○委員

司書教諭については教育委員会の方になろうかと思いますが、市の方の非常勤というかたちでの配置があればと思いました。

○事務局

では図書館のサービスとしてというよりは、市役所側のサービスを期待するかたちでしょうか。

○委員

それも含めてですね。欲張りすぎなのかもわかりませんが。

○議長

今、学校図書館の方は、学校司書の方が2校に一人の割合で配置されております。交付金事業としては1.5校に一人というかたちになっておりますので、教育委員会としては頑張っていたきたいと思いますが。

そうしたらこの意見のところはこの表現でよろしいですか。このまま、今言った学校へ専任の職員を派遣というようなことになると、これはまた偽装請負のようなことになりかねないので。

○事務局

そうですね、図書館からということというよりは教育委員会に配置してほしいという御意見と思います。

○議長

ではその意味でこれを残すということよろしいですかね。

○事務局

委員さんと相談しながら、文章として考えたいと思います。

○議長

はい、では表現の仕方を少し検討していただくということでお願いします。

では時間が迫ってきましたが、6番の方をお願いします。

○館長

それでは続きまして8ページ目6の(1)でございます。①につきましては子どもたちに読書活動への興味関心を持ってもらう新企画としまして、毎月第3日曜日家庭の日に、さんさんお話を4月から開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、結局9月からのスタートとなりました。会場も感染防止のために、お話のへやではなく広い研修室の方を利用し、人数制限を設けての開催となりましたけれども、毎回参加の常連さんもできて、非常に好評を得ております。

また11月20日には恒例となりました、子ども家庭支援センター海北に出張しての読み聞かせ会を開催しました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、夏休み期間が短縮されたこともありまして、毎年恒例のイベント、子ども図書館員、チャレンジ調べる学習についてはやむなく中止し、新企画でありました読書感想文教室の方も中止いたしました。防府市教育委員会と共催しました、図書館を使った調べる学習コンクールにつきましては夏休みが短縮された中でも小学生が3点、中学生が1点の応募があり、審査の結果上位2名を全国コンクールの方に出品しました。

なお、御質問のございました高校生を対象とした企画につきましては、コロナ禍ということもあり、昨年度は計画しませんでしたけれども、先日いたしましたように、子ども読書フェスティバルや図書館祭りに高校生ボランティアというかたちでの参加を促したところでございます。なお、この夏休み中の子どものイベント、今年度は予定通りに開催する予定で準備を進めております。以上です。

○事務局

資料2のページ10ページでございます。図書館協議会の意見案でございますが、大項目6については新型コロナウイルス感染拡大の防止の観点から、子どもたちの読書活動の多くが中止になったり、昨年は夏休みが短くなったことで開催できなかつたりした行事がいっぱいありました。しかし、このような環境の中でも行われているイベントに対しては、好評価をいただいていることと今年度は再開を望むという意見が多くありましたので、まとめさせていただきましてこの5つに絞らせていただきました。皆様の御意見を伺いたいと思います。

○議長

御意見、御質問ありましたらお願いします。調べる学習コンクール、昨年度

はコロナの関係もあって応募がごくわずかだったのですが、今年はやはり夏休みから始まるのですかね。子どもの読書について、学校の方から何か御意見ありましたら。

○委員

はい失礼します。中学校です。課題等のところに、今ご説明いただいたように、調べる学習コンクールへの出品者数を増やす方策ということが書いてあったので、私の方も学校と目的を共有して、どうやったら推進していけるかということと一緒に検討できればなということを書かせていただきました。読書感想文などは、本当に広く子どもたちへの取組みに繋がっていくと思うのですが、この調べる学習コンクールは、いつも言うのですが大変レベルが高く、これを広く子どもたちに本当は推進していきたいのですが、それが本当に効果的なものなのかということ思っている次第です。学校図書館とか防府図書館を利用して調べる学習というのは、これから役に立っていくと思うのですが、どの程度のことをまで子どもたちに望んでいくということをちょっとお聞きしたいと思っております。もちろん全国大会がありますので、それに準じたコンクールだろうとは思っていますが、今後、出品者数を増やす方策で考えていらっしゃるものがあたらお聞きしたいと思えます。

○事務局

はい、お答えしたいと思えます。今、各学校訪問をさせていただきまして、各学校の校長先生にお願いして歩いているところでございます。小学校中学校では、子どもに一人一台 ipad がわたっているところでございます。それで本は ipad と比べて別のいいところがあって、必ず小学校の低学年に ipad を突然持たせるのはちょっと難しいところがあるかと思えますので、小さいころから本に親しんでいって、それから大きくなっても本に親しんでいってくれる子どもであれば ipad も当然どんどん使えるような子どもになるかと、勝手に思っているところでございます。まずは、本を読むということが第一段階で、それによって読書感想文とかができるかと思えます。その中で、例えばふと疑問に思ったことを調べるとというのが次の段階です。確かに難しいと言われればそうですが、生活に密着して、何かこうふと疑問に思うことを子どもが調べてみたいと思った時に、援助ができるように図書館も常に子どもが夏休み中に調べに来ることがあれば対応できるような環境に努めておりますし、学校図書館の方も学校司書が配置してありますので、子どもが図書室に来てわからないことがあると図書室の司書なり、図書館の先生に聞けばわかるような対応ができるように資料をどんどん揃えているところでございます。夏休みが短いのでなかなか学校の図書館は使えないことがあっても、図書館は毎日開いております。調べるということは、まずは自分がはてなと思うことを調べるということが第一段

階で、それを何かしらにまとめたものを出していただければ、図書館を使って調べる学習コンクールの対象にはなろうと思っております。それで難易度から考えたら、先ほど言われたように難しいのかもしれませんが、出てくる作品がすべて難易度の高い、すごく優秀なものばかりが出てくるわけではございません。図書館管理室、教育委員会としましては、間口を広げて、いろんな方に参加してほしいと思っているコンクールでございます。これからも続けていく予定になっておりますので、ぜひ御協力をよろしくお願いいたします。

○議長

チャレンジしてみてください。小学校の方はいかがですかね。なにか御意見。

○委員

先日、私の学校でも選書会をしていただきました。その時に学校司書の方とそれから図書館管理室の方、そして防府市の図書館から貸していただいた本という3つの連携によって、とても良い選書会ができたと思います。市全体でレベルアップを図っていらっしゃるということなので、このような取組みをぜひ続けていただきたいと思っております。ありがとうございます。

○議長

はい、ありがとうございます。それでは7番目に行きましょう。

○館長

それでは11ページ目でございます。障害者や高齢者に優しい図書館ということでございますが、まず(1)の①につきましては、点字図書の活用を促すために、ボランティア団体、防府点訳の青い鳥の会の協力を得まして、防府市立防府図書館の展示一覧の点字版の作成、そして関係部署に配置いたしました。

なお図書館年報について先ほど御指摘がございましたが、今度令和2年度版からは、障害者高齢者サービスの利用状況を掲載いたしております。先ほど御指摘いたしました22ページでございます。21番目の項目として、令和2年度版からこちらの方を掲載しております。また来年度からさらに項目、例えばルーペの使用状況であるとか、そうした細々とした用具の方の利用状況につきましても合わせて記載していきたいというふうに考えております。

また(2)の①につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあるのか、郵送貸し出しの利用の本は、残念ながらございませんでした。対面朗読につきましては、障害者サービス室が対面朗読室となっております、これは狭いうえにまったく換気ができない、しかも対面だという部屋の構造になっておりますので、今年の3月以来ずっと閉鎖しております。ですから、実際に利用ができない状況でございまして、せめて郵送貸し出しの方をと思いましたが、残念ながら周知が不足したのか、御利用がございませんでした。ということで自己評価としては努力が足りなかったというふうにさせていただいております。

なお、利用の拡大につきましては、今後さらに広報に努めてまいります、やはり図書館に来ての利用が難しいという潜在的な利用者もいらっしゃるだろうということで、現在、新たなサービスといたしまして、視覚障害者及び視覚による表現の認識に障害がある方に、デジタイズ録音図書等のデータを提供するネットワークサービスを行おうと考えております。つきましては、国立国会図書館の視聴覚障害者等用データサービスの送信承認館になるべく、手続きを進めております。早ければ、もう数か月後には達成できるのではないかと思いますけれど、まだ準備の段階でございますが、いわゆる非来館と申しましうか、来館せずに利用できるサービスということも視野に入れて、今、障害者サービスの面からも考えております。以上です。

○事務局

はい、資料2のページ11ページ図書館協議会の意見案でございます。大項目7では、委員の皆様から特に(2)について図書館の利用がなかったことについて、御意見と御質問をいただいております。館長の方からお答えしております。

そして、評価の中には掲載しておりませんが、委員の皆様の御意見の中に、図書館協議会委員として障害者や高齢者の代表を入れてはどうかという御要望をいただいております。これは図書館協議会の中で、今後の検討課題とさせていただきたいと思っております。皆様の御意見を伺いたいと思っております。よろしく願いいたします。

○議長

はい、何か御意見御質問等ございましたら。

以前、障害者の害の字についての御意見があったかと思いますが、この図書館の障害者サービスの場合は、障害のある方はもちろんですが、高齢者のように図書館利用に障害のある方のことも含めて、障害者サービスというのでこの害の字で一般的には使われているということですね。

それで11ページの下から2番目に、図書館以外での図書館ボランティア養成講座、これは障害者サービス等も含めて、高齢者サービス等も含めてということかと思いますが、これはほかのところでも公民館の女性学級などに出張サービスを図書館がしているようですが、そういったところでのPRということでしょうか。

○委員

今、議長さんの方からお話がありましたように、それぞれの地域に公民館があるので、地域での公民館の方でその催しができれば、参加がしやすいのではないかと書いて書きました。

○議長

まあ、これも一考ですね。はい、どうぞ。

○委員

中関公民館の女性学級の件ですけれども、昨年度、コロナ禍で講座が次々とできなくなって、公民館も閉鎖されました。改めて女性学級で何をやるかを考えた時に、ちょうど私が女性学級の実行委員をやっているものですから、お話がありまして、ぜひこれは図書館を中関でPRしようかなという思いから、女性学級の講座に図書館から来ていただきました。大変好評で、図書館の業務案内とかビブリオバトルをやりました、講座生からも1名、図書館の職員さん、そして館長さんにもビブリオバトルに出ていただきまして、大変好評のうちに終わりました。特に館長さんが、エクセルで描く絵という本を説明していただいたのですが、その中にパソコンサークルの者が3名おりまして、すぐにその本をお借りして、講師の先生に12、13名のサークル会員全部に、これを説明してほしいとお願いして、先生の方から説明していただきました。それで大変素敵な絵を描くことができました。そして好評だったものですから、ぜひにと、中関公民館に貼らせていただきました。たまたま私は中関公民館の女性学級に入っていて、御紹介したのですが、できれば皆様の地区で、一人ひとりが公民館の講座や子ども会等で図書館を活用していただけたら、まだまだ図書館が広がっていくのではないかなと思っております。ぜひ、皆様によろしく願いいたします。

○議長

よろしく申し上げます。

布絵本を作成されて図書館に寄贈されている委員さんがおられますが、何か児童サービス、障害者サービスで御意見ありましたら。

○委員

皆さん、視点がとても高いところのお話をされておられて、私は、こういうところに少し慣れておらず、上手に言えないのですが、障害児も健常児も同じようにという意図から、私は布絵本の製作を始めました。ある紙の本、絵本がありますが、文字が少ないものに点字を付けたらどうなるかなと考えたり、それを普通の子どもの絵本コーナーに置いてみるというのもいいかなと考えたりしました。今、ボランティアが点字をたくさん作ってくださっていますが、いつも図書館の奥の方であって、誰も見ていらっやらないような感じがして、宝の持ち腐れみたいな感じがしています。一番初めは、簡単な易しい絵本から、点字をその本に貼り付けるのです。そうすれば健常児は小学校でも点字を習われるので、境目なしに点字を載せることもできるし、反対に目の見えないお母さんがいて、健常な子どもさんが来られて、お母さんに読んでと言った時に、点字があれば何か親子でできるのではないかと思いました。視点が低いのかもかもしれませんが、何かやってみれば良いかと、ちょっと考えました。

○議長

図書館ともよく御相談されて進めてください。

7番まで見ていきましたが、全体を通して何か御意見、御質問等がございましたら。よろしいですか。

それでは最後に、その他について事務局から何かございましたら。

○事務局

今回は第1回目の会議を踏まえまして、会議の始めにも話が出ましたが、事業の実施状況の評価をホームページで公開したいと思っておりますので、この後お気づきの点がございましたら、お知らせいただけたらと思います。

それから今回の会議では、図書館の令和2年度の評価を御協議いただきましたが、第2回は10月頃の開催を考えております。第2回では今年度の図書館事業の中間報告について、御説明をする予定にしております。今後の事業の説明の中でも、今年度予定していることや既に今年度実施したことについて、多少説明が出ておりましたけれども、今回の評価を踏まえまして、今年度の行事に反映できる部分は今後反映し、今年度ですすぐ対応できないところにつきましては、次年度令和4年度の事業計画の作成の時に参考にさせていただきたく予定でございますのでよろしくお願いいたします。以上です。

○議長

本日は、令和3年度の第1回目の会議ということで、令和2年度の図書館事業の実施状況について説明を図書館事務局から受けまして、評価について協議を行いました。長時間にわたり御協議いただきましてありがとうございました。駆け足になった上に時間もオーバーしてしまい、失礼しました。いずれにしましても、防府図書館が生涯学習の中核施設、街の情報拠点として、今後ますます市民にとって魅力ある充実した施設になることを期待しております。これをもちまして、本日の議題等についてはすべて終了しました。委員の皆様、御協力ありがとうございました。事務局にお返しします。

○事務局

本日はお忙しい中、長時間にわたり御協議いただき誠にありがとうございます。今後とも、防府市図書館サービス振興基本計画に基づいた図書館サービスの充実に、御協力をお願いいたします。それでは、以上をもちまして令和3年度第1回防府市図書館協議会を終了いたします。お気を付けてお帰りください。本日はありがとうございました。